

シメコナゾール粒剤 モンガリット粒剤	取扱メーカー： 三井アグロ 原体メーカー： 三井アグロ
成分： シメコナゾール〔エルゴステロール生合成阻害剤〕…1.5%	性状： 類白色細粒 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】

- 稲の紋枯病・稲こうじ病・墨黒穂病・穂枯れ、ねぎの白絹病・黒腐菌核病に有効。
- 根から素早く吸収されて即効性に優れる。
- 稲での最適な使用時期は出穂2～3週間前。適期に遅れない早めの処理で効果が安定する。
- 有成分の特性は参考資料の「有効成分一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 稲での各病害の処理適期はモンガリット1キロ粒剤の項を参照。
- 稲に使用する場合、散布に当たっては、湛水状態（水深3cm程度）で重複をさけ均一に散布し、散布後は少なくとも3～4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。また、止水期間中の入水は静かに行う。なお漏水の激しい水田では使用をさける。

- ねぎの定植後に使用する場合、冬季に定植する作型では生育が抑制されるおそれがあるので使用をさける。

- ねぎ及びにんにくの白絹病に使用する場合、土寄せ前～土寄せ後に本剤を株元散布する。

- ねぎの黒腐菌核病に使用する場合、定植時に処理できる他の薬剤との体系防除をすると効果が安定する。

【薬効・薬害等の注意】

- 本剤が不均一に混和された場合、薬害（生育抑制）を生じるおそれがあるので、十分に混和する。

【安全対策上の注意】

- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。



【適用と使用法】

作物名	適用病害名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	シメコナゾールを含 む農薬の総使用回数			
稲	紋枯病 疑似紋枯症 (褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症 (赤色菌核病菌) 疑似紋枯症 (灰色菌核病菌) 疑似紋枯症 (褐色菌核病菌) 稲こうじ病 墨黒穂病	3～4kg	収穫45日前 まで	2回以内	湛水散布	2回以内 (移植時ま での処理は1回 以内)			
	穂枯れ (ごま葉枯病菌) 穂枯れ (すじ葉枯病菌)	4kg							
未成熟とうもろこし	紋枯病	6kg	収穫7日前 まで		株元散布	2回以内			
レタス	ビッグベイン病	12kg	定植前	1回	全面土壌 混和	1回			
非結球レタス	すそ枯病	9～12kg							
キャベツ	株腐病	6kg			生育期 但し、収穫 14日前まで 土寄せ時 但し、収穫 14日前まで		3回以内	株元散布	3回以内 (は種時は1 回以内)
にら	白絹病								
ねぎ	黒腐菌核病	4～6kg	は種時	1回	土壌表面 散布	1回			
	小菌核腐敗病								
	白絹病								
	黒穂病								
ほうれんそう	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	9～18kg	植付前	2回以内	全面土壌 混和	6回以内 (植付前は1 回以内、植付 後の株元散布 は2回以内、 散布は3回以 内)			
ごぼう	黒あざ病								
にんにく	黒腐菌核病	18kg	土寄せ時 但し、収穫 75日前まで (茎葉展開期)	2回以内	株元散布	3回以内			
	白絹病	6kg							
こんにゃく		4～6kg	培土時 但し、収穫 120日前まで	3回以内	株元散布 (散布後 土寄せ)	3回以内			